

株主・投資家の皆様へ

第33期 株主通信

2024年1月1日から2024年12月31日まで

シークス株式会社

証券コード | 7613

株主の皆様へ

皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第33期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

この度、2025年3月27日の第33期定時株主総会にて代表取締役社長を拝命いたしました平岡和也と申します。わたくしは、1996年に当社に入社して以降、シンガポール、タイ、香港、中国に赴任し、当地での顧客開拓、営業活動に従事してまいりました。2016年からは当社の執行役員として主に中華圏を統括する責任者として、当地子会社の経営にも携わってまいりました。また、昨年度からは本社に帰任し常務取締役執行役員として、シークスグループ全体の営業および資材調達の統括責任者を務めてまいりました。

この度の代表取締役社長の拝命にあたり、これまでの経験を活かし、企業価値向上のため誠心誠意尽力してまいりたいと考えております。

近年、米国の自国第一主義の政策や、中国経済、欧州経済の長期化する不透明感の中にもありながらも、当社グループが関連する事業分野においては顧客の電子化や地産地消のニーズが高まっており、これまで培ってきた現場での対応力やグローバルネットワークなど当社の強みを生かし、中長期的な成長を目指してまいりたいと考えております。経営においては今後なお一層の難しい舵取りを求められることとなりますが、業容拡大、業績の向上のみならずサステナビリティ課題を含めたすべての経営課題に愚直に向き合うことで、当社の企業理念である“世界のあらゆる分野のニーズをオーガナイズし、ビジネスを創造する「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」”たる役割を全うし、すべてのステークホルダーの皆様へ共感と魅力をもたらす企業を目指してまいります。

株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様からのご期待にお応えできるよう日々精進してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2025年3月



COO 代表取締役社長

平岡和也

CEO代表取締役会長 村井史郎 逝去について

当社CEO代表取締役会長 村井史郎は、2025年3月12日に逝去し、同日付でCEO代表取締役会長を退任いたしました。創業者として当社の基盤を確立し、現在のシークスを築いてきた村井の遺志を引き継ぎ、グループ丸となってステークホルダーの皆様へ共感と魅力をもたらす企業であり続けられるよう、今後もシークスグループの発展に邁進してまいります。これまでのご厚誼に深く感謝するとともに、生前、村井が株主の皆様に向けて残したメッセージをご紹介します。

会長退任メッセージ



CEO 代表取締役会長

村井 史郎

まず、株主の皆様から長年にわたって賜りましたご支援に対し、心から感謝の意を表します。誠にありがとうございました。

振り返りますと、1992年にサカティンクス株式会社から第一海外事業部が分社独立、旧社名「サカティンクス インターナショナル株式会社」を設立して、早いもので33年が経ちます。私は設立時点で63歳。贅沢なことですが、第二の人生をシークスとともに歩ませていただきました。生来負けん気が人一倍強く、分社時に赤字部門へ転落していたにも拘らず、「設立10年で売上高1,000億円、上場を目指すぞ!」と息巻いて、約90名の社員と旗揚げしました。サカティンクス出資100%での船出でしたが、上場企業となって真に独立することを目指していましたので、資本金10億円で、偉そうに新築ビルに間借りし、当時のサカティンクスの子会社としては相当異質な存在であったと思います。

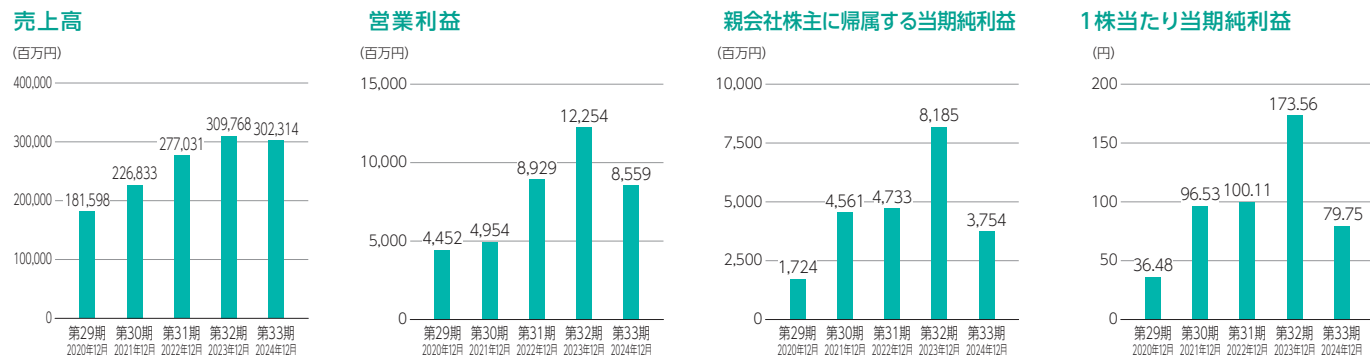
時はバブル崩壊の真っただ中、設立2年半後に阪神・淡路大震災が発生するなど逆風が吹き荒れていましたが、

一時79円台をつける円高を背景に日本企業の海外進出が進み、前身時代に1960年代から海外展開を進めていた当社は、従来の商社ビジネスのみならず、自社で海外生産も行うようになりました。その間にアジア通貨危機も経験しましたが、社員が幾多の苦難をよく乗り越えてくれたと思います。また、不安定な環境下にありながら、サカティンクスから転籍する際にはほとんどの社員が同意してくれ、「何としても設立10年で売上高1,000億円と株式上場」を合言葉に日々奮闘しました。おかげさまで期限を待たずに両方の目標を達成し、設立時以来の決起集会を開催した時、やっと独り立ちした実感を社員全員で分かち合いました。

2003年3月、設立10年を節目に代表取締役社長を次の代へ任せるにあたり、2000年5月からプロジェクトチームを作って、2002年1月に発表したのが「SIIX Principles」です。この先、シークスはどこへ向かうべきか、道に迷った時に立ち戻る拠り所として、当社のプリンシプルズ(原理原則)を作ったのです。SIIX Principlesは、SIIX Ideals(企業理念)、Our Favorite Way(行動指針)、役員・幹部のMission(使命)・Role(役割)・Conditions(条件/あるべき姿)からなり、シークスらしさとは何かをまとめています。「何屋さんにならない」と私がよく言うのは、シークスが何にも縛られることなく、時代の流れを敏感に読み取って自由に事業を選択し、成長し続けること、を意味しています。そういう意味では、海外事業部が、インキからデンキ(電気)、ガッキ(楽器)と事業分野を拡げ、シークス設立以降も、挑戦したモバイル事業が価格競争の波に陥るのを感じるや、新たにカーエレクトロニクスのEMSへ舵を切ったように、これからも自由に、時代にあった姿へ自らをトランスフォームしていく、それがシークスらしさであり、シークスのサステナビリティであると考えます。

シークス設立から33年。これまで私に働き甲斐を与えてくれたすべての方々に、今は感謝の念しかありません。ファウンダーとして、これからもシークスを見守ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、温かく、かつ長い目で、子どもの成長を応援する家族のような存在であり続けてくださいますよう心から願っております。

連結業績ハイライト



事業の概況

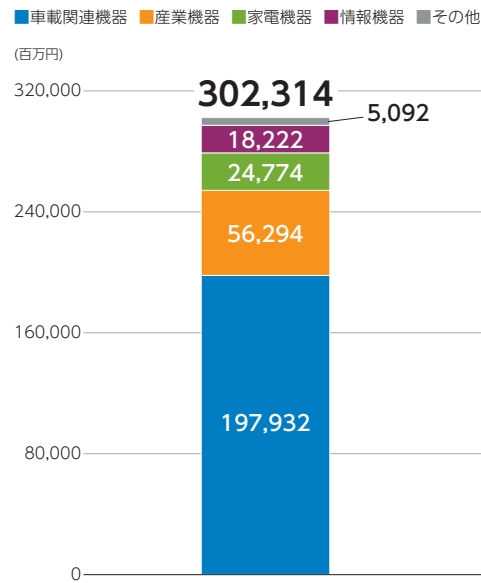
第33期 2024年12月

売上高 **3,023億1千4百万円**

営業利益 **85億5千9百万円**

親会社株主に
帰属する当期純利益 **37億5千4百万円**

売上高構成



品種別の状況

当社が取り扱う電子部品・基板実装品の最終製品を用途別に紹介いたします。

車載関連機器



197,932百万円 構成比率 **65.5%**

カーマルチメディア、車載エクステリア、メーター、ECU、スイッチ、準ミリ波レーダー、ABS、カメラ、バッテリーセンサー 他

産業機器



56,294百万円 構成比率 **18.6%**

パワーツール用エンジン点火装置、バッテリーパック、航空機内電子機器、インバーター、医療機器、スマートメーター、工業用マシン 他

家電機器



24,774百万円 構成比率 **8.2%**

デジタル家電、エアコン、冷蔵庫、知育玩具、健康器具、電子楽器 他

情報機器



18,222百万円 構成比率 **6.0%**

事務機器、OA機器、プロジェクター 他

その他



5,092百万円 構成比率 **1.7%**

その他電子部品、自動車用ワイヤーハーネス、オートバイ、インク 他

※写真はイメージです。

サステナビリティ活動報告

2024年度の当社のサステナビリティに関する主な取り組みをご紹介します。

CO₂排出削減活動

当社は、気候変動課題への対応のため、サプライチェーン全体で排出されるCO₂の削減に取り組んでおります。

電力の再エネ化の推進

操業時に使用する電力の再エネ化を進めております。電力使用による間接的な化石燃料の消費削減に取り組んでおります。

●再エネ利用率*

※電力会社からの購入電力の再エネ由来電力の比率

2024年度 **18%** ▶ 2025年度(予定) **59%**

太陽光パネルの設置

操業に必要な電力の一部を太陽光パネルを自社に設置することで賄っております。

●設置拠点

上海、東莞、湖北、メキシコ、ジャカルタ、パタム、シンガポール(設置済)
タイ(25年設置予定)



SBT認証取得

2024年8月、2030年を目標年とするSBT*の認証を受けました。気候変動課題への対応のため、今後もより一層の取り組みを推進してまいります。



※パリ協定の目標と整合した科学的根拠に基づいて設定する温室効果ガス削減目標(Science Based Target)

人的資本経営の推進

当社は、中期経営計画において人的資本経営の推進を活動目標として掲げております。企業価値向上のため人材育成に注力してまいります。

企業理念の浸透活動

当社の企業理念を全社員で共有すべく取り組みを進めております。啓蒙ポスターの作成や企業理念を学ぶ場を設けるなど世界各地の拠点で個性豊かな取り組みが進んでおります。



シークスアカデミー

従業員それぞれが必要な知識・スキルを総合的かつ体系的に学ぶカリキュラムを導入しております。自ら積極的に学び、成長に生かすことができるよう支援を行っております。

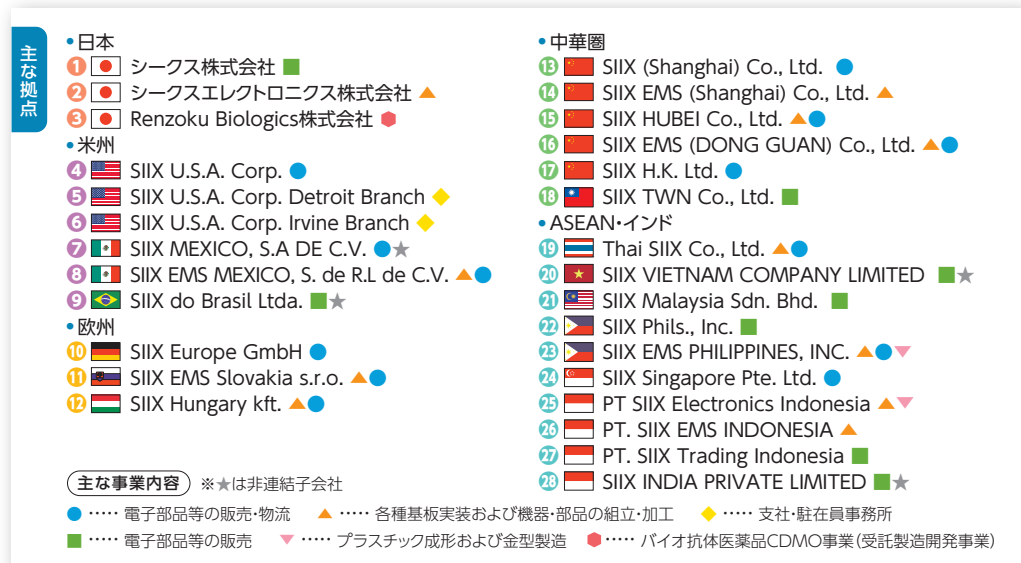
エンゲージメントスコアの向上

半年に一度、本社従業員を対象にエンゲージメント調査を行っております。2025年度からは子会社の管理職にも調査対象を拡大予定で、従業員のモチベーションの向上を目指し、現状把握を定期的に行うことで、より有効な教育やエンゲージメントを実施しております。

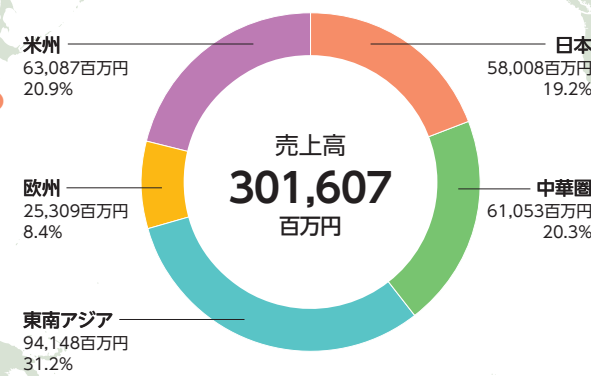
シークスグローバルネットワーク

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様に様々なアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みの一つです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界15カ国に約50ヶ所設置しております。(2024年12月末現在)



セグメント別売上高構成比・売上高



※連結売上高302,314百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない706百万円が含まれております。

トピックス

■ サプライヤーカンファレンス開催

コロナ禍で中断しておりましたが、4年ぶりに第17回目となるサプライヤーカンファレンスを開催しました。当日は約90社のサプライヤー様にご参加いただき、当社の調達方針等をご説明いたしました。今後このような機会を設け、サプライヤー様との関係強化に努めてまいります。

■ 「女性活躍リーディングカンパニー」三つ星認証取得

大阪市より「女性活躍リーディングカンパニー」の最高ランクである三つ星企業として、認証されました。今後も女性を含めたすべての従業員の多様性を活かした働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。



■ 「OSAKA子どもの夢」応援事業～第5回SDGsギネス世界記録チャレンジ」の協賛

当社としては今回で3回目の協賛となる「OSAKA子どもの夢」応援事業は、子供たちのSDGsへの理解・関心を深めることを促すというコンセプトのもと大阪府公民戦略連携デスクが主催・運営する事業です。当社ではこのような事業への支援を通して、今後も地域社会の発展へ貢献してまいります。

■ インドでの販売会社設立

当社として拠点進出は初めてとなるインドに営業・販売拠点を設立しました。同国の製造パートナーやテクノロジーパートナーと協業し、幅広い顧客層の開拓を目指し、一層のビジネス拡大に注力してまいります。



2024

1月

3月

3月

7月

11月

11月

12月

12月

■ 日興Web IR Day

日興アイ・アール(株)主催の「日興Web IR Day」サイト内で個人投資家の皆様へ向けた会社説明動画を配信いたしました。今後も引き続き、個人投資家の皆様との対話の機会を積極的に設けてまいります。

■ 村井シークス財団設立

日本およびASEAN地域において、自由な気風と湧き上がる好奇心を持つ有望な人材を育成するため、村井シークス財団を設立しました。大学生および大学院生に対し奨学金の給与を行い、彼らが世界的なリーダーとして活躍できるように支援することで、わが国および世界中の経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的としております。

■ スロヴァキア国立オペラ2024「ラ・ボエーム」開催

「質の高いオペラを手頃な価格で」「オペラを通じたスロヴァキアとの文化交流」を主旨として1999年から始まった日本公演ですが、大阪では今回が5回目の開催となりました。今後とも、両国交流の促進に協力してまいります。



■ ハンガリー工場の閉鎖

欧州経済動向をふまえ、欧州のオペレーションサイズの見直しを行い、シークスハンガリー工場の閉鎖を決議いたしました。今後は欧州製造拠点として戦略的役割を一段と強化したシークススロヴァキアで、長期的な競争力を強化し、欧州市場におけるニーズに応えてまいります。

株式の状況

会社概要

(2024年12月31日現在)

商号	シークス株式会社
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
従業員数	個別 228名 連結 9,538名
拠点	大阪本社、東京本社、名古屋営業部
証券コード	7613
URL	https://www.six.co.jp/

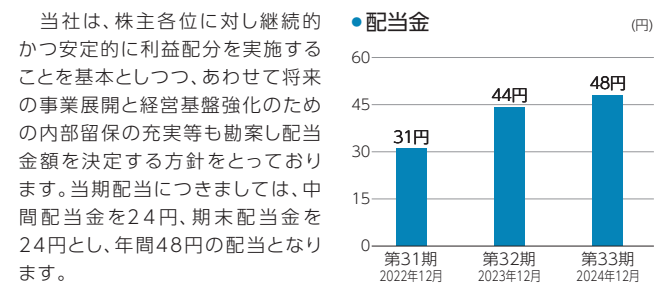
役員の状況

(2025年3月27日現在)

COO 代表取締役社長 執行役員	平岡 和也	社外監査役	中都志子
COS 代表取締役専務 執行役員	丸山 徹	執行役員	村上 正樹
C T O 常務取締役	高木 浩昭	執行役員	浦谷 行信
C F O 常務取締役	蒲田 顕久	執行役員	岩武 孝明
社外取締役	高谷 晋介	執行役員	佐治 宏哲
社外取締役	大森 進	執行役員	河西 正則
社外取締役	吉澤 尚	執行役員	小出 裕一
社外取締役	藤井 安子	執行役員	江川 善信
監査役	吉田 明生	執行役員	福井 由紀
社外監査役	新田 泰生	執行役員	紀川 浩二

※取締役のうち、高谷晋介氏、大森進氏、吉澤尚氏、藤井安子氏は、社外取締役です。
※監査役のうち、新田泰生氏、中都志子氏は、社外監査役です。

配当推移



株主優待

ギフトカード

対象 毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。
※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

海外工場視察旅行

対象 1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様
※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

内容 当社のビジネスモデルに対する理解を深めていただくことを主眼に、当社海外工場の視察を含む旅行に、上記の長期保有の株主様の中から抽選で10名様をご招待いたします。(毎年1回)

株式・株主の状況

(2024年12月31日現在)

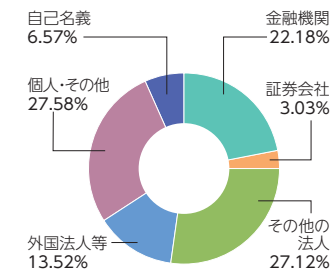
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	50,400,000株
当期末株主数	50,210名

【大株主】

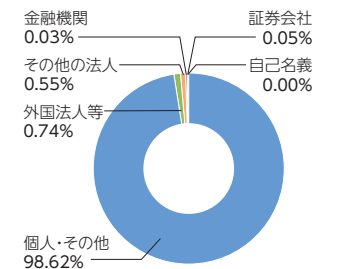
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタイムズ株式会社	10,812,000	21.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,910,900	7.76
有限会社フォーティ・シックス	2,400,000	4.76
株式会社りそな銀行	2,170,800	4.31
株式会社三井住友銀行	2,160,000	4.29
村井 史郎	1,211,634	2.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	906,300	1.80
株式会社三菱UFJ銀行	720,000	1.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	651,600	1.29
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE WSWALES PENSION PARTNERSHIP (WVALES PP) ASSET POOLING ACS UMBRELLA	641,200	1.27

※上記のほか当社所有の自己株式3,311,857株(6.57%)があります。

●所有者別所有株式数



●所有者別株主数



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日
	そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎0120-782-031 (インターネットホームページ) https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/

公告方法 当社のホームページに掲載します。 https://www.six.co.jp/ir/notice/

単元株式数 100株
上場取引所 東京証券取引所プライム市場
証券コード 7613

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

- 証券会社に口座を開設されている株主様
口座のある証券会社宛にご照会をお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といふ)を開設しております。上記の電話照会先にご照会をお願いいたします。